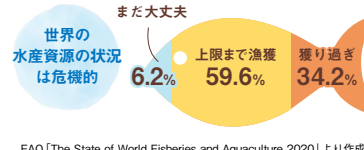


「海の恵み」が
減っています

地球の表面の7割を占める海。その豊かな生態系は、私たちの食卓に魚や貝など海の恵みをもたらしてくれています。しかし近年、海水温の上昇やごみの流出、資源の乱獲などで、豊かな海は危機に直面しています。豊富に生息する魚介類はわずか6・2%、約59%はこれ以上漁獲量を増やすことができず、約34%は獲り過ぎです。

一方で、魚介類の増える量や成長のスピードを考慮して適切に漁獲すれば、将来にわたって漁業を続けることができます。これからもおいしい魚を食べられるように、豊かな海を守り育てるためのルールに従った漁法を広げ、



未来につながる お買い物を

つくる責任 つかう責任

「森の恵み」も
減っています

世界では、1990年以降、推定4億2千万ヘクタールもの森林が減少したとされています。これは、日本の約11倍の広さの森が失われたということです。その原因はさまざまですが、私たちのくらしもその一つ。日々利用する木材や紙、そして食品や洗剤などに使われる「パーム油（植物油脂）」などの生産が、時に世界の森林破壊の要因となっているからです。

森林は、私たちに資源をもたらすだけでなく、水の供給源であり、多くの生き物のすみかであり、地球温暖化につながる「酸化炭素(CO₂)」を吸収してくれる存在でもあります。豊かな森を未来につ



参考：国連食糧農業機関 (FAO) [Global Forest Resources Assessment 2020]



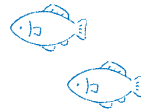
私たちのくらしは、さまざまな恵みで成り立っています。でもそれは、地球のどこから来ているのでしょうか。今ある恵みを未来につなげるために、毎日のお買い物でできることがあります。

コープは「持続可能な生産と消費」を進めています

豊かな海や森の恵みを守るために、コープでは商品の品ぞろえや安全性、開発・調達方法の考え方を「商品政策」として定めています。その柱の一つが「持続可能な社会の実現への貢献の考え方」。生産者と協力しながら「環境に配慮している」「持続可能な方法で商品が生産・流通されている」商品の開発と取り扱い拡大を進めています。特に、水産資源と森林資源、パーム油は「持続可能な調達方針」を定め、資源を守りながら作られた商品を組合員の皆さんにお



決められた漁獲量を守っていく
必要があります。



なげるために、森林を壊すことなく、必要なのを生産する仕組みを広げる必要があります。

届けられています。

詳しくは「ささ

コープデリグループの持続可能な調達方針と、関連する商品

コープデリグループでは、水産資源、森林資源、パーム油の「持続可能な調達方針」を定めています。持続可能な方法で生産・調達された商品には、それぞれ認証マークが付けられており、こうした商品への切り替えを進めています。

マークがついた商品を選んでもらうことで、

私たちも貴重な海や森の恵みを守ることができます。

商品がどうやって作られたのか、買うときに考えることが、SDGsの達成につながります。

水産資源

調達方針：持続可能な水産資源の利用と水産漁業者との連携を強め、日本の魚食文化を育みます。

主な認証マーク



たとえばこんな商品

骨取り赤魚のみぞれ煮

森林資源（紙・パルプ・木材）

調達方針：森林認証プログラムや間伐材・再生紙使用商品の開発と取り扱いを進めます。

主な認証マーク



未晒し原料を再利用したトイレットペーパー

こちらも目印に！

パーム油

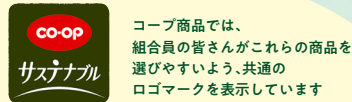
調達方針：自然と共生する社会の実現に向け、持続可能なパーム油の認知と普及を進めます。

主な認証マーク



たとえばこんな商品

コープヌードルしょうゆ



コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標12：

つくる責任 つかう責任

につながっています。

